

# 姉妹・友好都市ニュース

International Friendship Association of Ibaraki

Vol.55 2010.12.17

SISTER CITIES NEWS

茨木市国際親善都市協会

## 茨木市国際親善都市協会設立30周年記念号



追手門学院大学チアリーディング部  
Soldiers

### CONTENTS 目次

- 協会設立30周年記念祝賀会 ..... 2
- 3姉妹友好都市訪問団来茨 ..... 3
- 姉妹都市提携30周年祝賀市民訪問団、英語学習ツアー ..... 4
- ミネソタ州日本語村、小豆島オーリーブマラソン訪問団 ..... 5
- 小豆島への市民訪問団、市からのお知らせ ..... 6
- 英語スピーチ大会、市民とJICA研修員とのふれあい交流 ..... 7
- 姉妹都市活動室・実用日本語学習会活動報告 ..... 8
- 国際交流の集い、We Are Friends!、茨木市卓球訪中団募集 ..... 9
- 茨木市国際親善都市協会組織改革、寄附 ..... 10



# 茨木市国際親善都市協会は設立30周年を迎えました!!

「茨木市・ミネアポリス市姉妹都市提携30周年」  
「茨木市・安慶市友好都市締結25周年」

10月2日(土)に協会設立30周年記念祝賀会を開催し、これまでの3姉妹友好都市との交流を振り返るとともに、これからもさらに交流の裾野を広げ、友好関係を深めていくことを改めて確認しました。祝賀会では、和太鼓きららによる太鼓の演奏や向陽台・早稲田摂陵高校吹奏楽コース卒業生みつばち会の吹奏楽演奏、ワールドウィングスバントワリングチーム、追手門学院大学チアリーディング部の演技などが披露され、華やかな祝賀ムードの中お開きとなりました。



感謝状授与式



会場の様子

向陽台・早稲田摂陵高校吹奏楽コース卒業生  
みつばち会

和太鼓「きらら」



ワールドウィングスバントワリングチーム

## 安慶市友好訪問団! (茨木市・安慶市友好都市締結25周年)

友好都市安慶市より、友好訪問団6名が協会設立30周年・友好都市締結25周年の祝賀のため来茨されました。10月1日(金)茨木に到着した一行は、市内視察を行い、市長への表敬訪問の際には25周年の記念品としてクロスステッチ(刺繍で描かれた掛け軸)を茨木市に寄贈されました。また、今後の交流についてもさらに活発化させていくことで相互の意思を確認しました。



▲ 茨木市・安慶市議定書調印式

## 小豆島町訪問団!

小豆島町長を始めとする7名の小豆島町訪問団が協会設立30周年祝賀のため、10月2日(土)から10月3日(日)にかけて茨木を訪れました。市内を見学した後、表敬訪問をした一行は、その夜の祝賀会でも多くの方々と交流を深め、訪問を終えました。



▲ 小豆島町訪問団 ▲



## ミネアポリス市親善訪問団！

(茨木市・ミネアポリス市姉妹都市提携30周年)

10月1日(金)から10月6日(水)にかけて、ミネアポリス市親善訪問団6名が、協会設立30周年・姉妹都市提携30周年の祝賀に茨木市を訪れました。1日(金)の深夜に茨木に到着したにも関わらず、2日(土)から6日(水)にかけては、市長への表敬訪問や、各市内施設・幼稚園・高校などの視察を意欲的にこなされ、滞在期間中にはたくさんの方と交流をされました。その後全日程を終え、帰国の途につかれました。



市長・議長への表敬訪問



▲ 彩都敬愛幼稚園を視察



▲ 市場の説明を受ける訪問団員



▲ 中央卸売市場を見学



▲ 春日丘高校合気道部の実演



▲ 合気道部のみなさんと一緒に



▲ 園児たちとも交流！



▲ 春日丘高校音楽部のみなさん

## サウンドブリッジが修繕されました

現在、市役所の南館にあるサウンドブリッジは、茨木市・ミネアポリス市姉妹都市提携20周年の記念品としてミネアポリス市から茨木市へ寄贈されました。今回は10年が経過し、サウンドブリッジの修繕・メンテナンスをするため、訪問団の一員として制作者のNorman Andersenさんが来茨され、音色がととのったサウンドブリッジのお披露目会が開かれました。



サウンドブリッジお披露目



## 姉妹都市提携30周年 祝賀市民訪問団

今年、茨木市とミネアポリス市の姉妹都市提携は30周年を迎えました。その節目の年に茨木市民親善訪問団が2010年7月16日(金)～23日(金)までミネアポリス市を訪れました。茨木市から30周年記念に贈呈した桜の植樹式や水上祭パレードに参加したり、ホームステイを体験するなど、盛りだくさんの8日間となりました!



桜の植樹▶

▲ 提携20周年に茨木市から贈呈した双珠の鐘“The Bell of Two Friends”の前で



▲ バトントワリングチームも交流



▲ 水上祭でも輪が広がりました



◀ 双珠の鐘を鳴らしました

## 英語学習ツアー

2010年7月7日(水)～23日(金)の17日間、英語学習グループがミネアポリス市を訪れました。英語の学習だけでなく現地の生活や文化を体験してこられた、参加者の声をお届けします!

参加者 今村あかね

私にとって、今回の英語学習ツアーは初めての海外旅行でした。英語を学べるというのはもちろんですが、観光地を見て回る一般的な観光旅行とは違い、実際に現地の生活ができるというところに魅力を感じ、参加させていただきました。

英語の授業では、3人の先生方に親切丁寧に教えていただきました。授業といっても、難しい内容ではなく身近なフレーズや単語の発音練習など、楽しい時間を過ごせました。授業は午前中に終わり、昼食の後は習ったフレーズを実際に使えるようなアクティビティに参加します。勉強しているという感覚は全くなく、知識を身につけることができました。

ホームステイでは、アメリカの伝統のハンバーガーを食べたり、湖をボートで探検したりと初めての経験ばかりでした。ホ



メジャーリーグ(ツインズ戦)を観戦!▲



ストファミリーに、日本が大好きな娘さんがいらっしゃり、お手玉をして遊んだり漢字を書いてあげたりして楽しみました。

私の初めての海外旅行は素晴らしいものになりました。また、アメリカという大きなものに目を向けることができ、人間的にも成長できた旅でした。いつか日本を離れ、ミネアポリスに住んでみたいと思うようになりました。



▲ 30周年記念ディナー





## ミネソタ州日本語村 コンコーディア 報告

関西学院大学4年 隈部 晋次

7月15日(木)から8月31日(火)にかけて、アメリカ文化であるサマーキャンプで子どもたちに日本語と日本文化を教えるスタッフをするためにミネソタ州に行きました。きっかけは何気なくチェックしていた市の広報誌。すぐに詳細を聞くために市役所に向かいました。お話をお聞きして、長期で海外に行くチャンスを探していた私にはとても魅力的なものに感じました。



スタッフとして採用が決まっ  
てからは、協会の岡田さんを  
はじめとした多くの方にアド  
バイスやご協力をいただきました。  
そのおかげでプログラム  
期間前後のホームステイを含  
め、大きなトラブルもなく充実  
した毎日を送ることができ、この夏の一ヶ月半は私の人生の  
中で最も印象的なものとなりました。また、子どもたちとスタッ  
フ合わせて約100人のアメリカ人に囲まれて寝食を共にする  
集団生活は、私に日本を外から見る機会、日本の素晴らし  
さを再認識する機会を与えてくれました。今回の経験で得た  
ものを周囲に発信していくことが、キャンプに参加させてい  
ただいたことへの恩返しになるとと思っています。

最後になりましたが、茨木市をはじめ応援してくださった皆  
様、本当にありがとうございました。



## 小豆島オリーブマラソン訪問団！

5月22日(土)から23日(日)にかけて小豆島オリー  
ブマラソン訪問団が、姉妹都市の小豆島町を訪問し、  
小豆島オリーブマラソンに参加しました！雨の中のマラ  
ソンとなりましたが、みなさん完走されました。



## 「オリーブマラソンに参加して」

藤賀 満子

第33回2010小豆島オリーブマラソン全国大会に参加  
いたしました。5月23日は朝から雨、大会会場の坂手港町管  
広場に着くと雨は一層激しくなりました。

私はハーフマラソンに出場、AM10時、激しい雨の中  
でのスタートとなりました。

お醤油や佃煮の工場横を通り、沿道の声援を受けて町の  
中心部を通り過ぎると、瀬戸内海の美しい湾がみえてきます。  
「二十四の瞳」岬の分教場へと走ります。たくさんのランナー  
とすれ違い、一緒に参加したマラソングループ「ミント」の仲  
間とも声を掛け合い、元気を貰います。雨はだんだん小降り  
になり、岬の分教場に着くと、懐かしい童謡「汽車ぽっぽ」  
が流れていて心が癒されました。二十四の瞳映画村の折  
返し点を過ぎると、上り下りの連続でしたが、ゴール出来ま  
した。(タイム2時間10分23秒)

オリーブマラソンは前山本市長の時から何度も参加してい  
ますが、雨の日の大会は初めてでした。ゴール後の手延べ  
そうめんは美味しくて楽しみでしたが、身体が濡れていて寒く  
て、それでも少しだけ戴きました。

今年も茨木市国際親善都市協会の市民訪問団に参加さ  
せて頂き、マラソン前日に観光した「寒霞溪」や「二十四  
の瞳映画村」そして、ホテルでの宴会など、楽しませてい  
ただき、ご一緒させて  
頂いた方々とも交流  
できました。

事務局のスタッフ  
の皆さん、大変お  
世話になり有り難  
うございました。



ゴール地点▶



## 市民訪問団が小豆島町を訪問しました！

11月12日(金)から13日(土)にかけて、紅葉の美しい小豆島で寒霞渓や、お猿の国、みかん園などを観光し、秋のひとときを楽しみました。

今回の行程は、テレビ番組でも紹介されたことのあるヤマロク醤油や、いりこの製造直売をしている片山水産など、小豆島訪

問団リピーターの方にも楽しめる内容を小豆島町よりご提案いただきました。また、訪問団は12日(金)小豆島オリーブ公園での歓迎式にて、塩田町長やその他町関係者の歓待を受けました。そして、みなさん元気に日程を終え、翌13日(土)「楽しかった!」と笑顔で茨木に戻ってこられました。



### 市が小豆島町宿泊施設利用者に補助

姉妹都市小豆島町との交流促進を図るため、小豆島町の指定宿泊施設を利用する市民の皆さんに、市が宿泊費用の一部を補助する制度があるのをご存知ですか？

補助額(1泊)は、中学生以上2,000円、小学生1,500

円です。1人につき年間(4月～翌年3月)1泊分まで補助されます。申請書の提出は宿泊日の10日前までとなっております。詳しくは、市民活動推進課へお問合せ、又は茨木市ホームページの「各課のご案内」から市民活動推進課のページをご覧ください。

## 市からのお知らせ

### ■ サウスウエスト高校のみなさんが来茨

平成22年6月21日(月)にサウスウエスト高校の生徒4名と先生が表敬訪問をされ、「茨木の印象はどうですか?」と市長に聞かれると、「とても忙しい街だと思いました」と答えていました。同校は春日丘高校と姉妹校提携をしており、今回も春日丘高校の授業に参加し、生徒の家でホームステイを体験されました。



### ■ ミネソタ州バイオビジネス連合会長が表敬訪問!!

平成22年9月16日(木)にミネソタ州からバイオビジネス連合会長デイル・ウォルストロム氏が表敬訪問し、ミネソタと関西のバイオ連携に寄与したとして市長に楯を贈られました。



CEO デイル氏と懇談

### ■ JICA 地方自治体行政研修員が表敬訪問しました

平成22年3月23日(火)にケニア、タンザニア、ウガンダ、ザンビアから17名の研修員が来茨、表敬訪問されました。茨木市では、都市計画や、財政、人事制度や区画整理事業など幅広い分野の研修を受けられました。



JICA 研修

### ■ 茨木市訪中団が安慶市を訪問しました

平成22年10月12日(火)～16日(土)まで、茨木市訪中団が友好都市安慶市を訪れ友好都市締結25周年を共に祝いました。25周年の記念として茨木市から絵本198冊を寄贈し、安慶市からは、刺繍で描かれた掛け軸が贈られました。



茨木市・茨木市議会訪中団

### ■ 茨木市代表団がミネアポリス市へ!

平成22年7月17日(土)～22日(木)にミネアポリス市を訪問し、姉妹都市提携30周年の記念として茨木市から贈った桜の木の植樹式をはじめとする記念行事に市民訪問団、英語学習ツアー参加者のみなさんとともに参加しました。



ライバック市長を表敬訪問





# 英語スピーチ大会

11月3日(祝) 第27回となる「英語スピーチ大会」を開催しました。指定暗唱文“The Fall of Freddie the Leaf”を暗唱した中学生19名と自由なテーマで自分の思いをスピーチした高校生8名の堂々とした表現力豊かな声が会場に

響き渡りました。審査員の先生方や聴きに来られた方々から「レベルが高かった」、「聞き手のあたたかい拍手が印象的だった」、「発音がきれいだった」などの感想が寄せられました。



★ 中学生の部

- 第1位 宮越 理紗さん (大阪薫英女学院中学校 2年生)
- 第2位 杉江 泰典さん (茨木市立西中学校 3年生)
- 第3位 成瀬つきひさん (茨木市立西陵中学校 3年生)



★ 高校生の部

- 第1位 日下部礼佳さん (大阪府立茨木高等学校 2年生)
- 第2位 上田友梨香さん (神戸女学院高等学部 1年生)
- 第3位 田阪由希子さん (関西大倉高等学校 1年生)

## 市民と JICA 研修員との

# ふれあい交流

9月26日(日)に JICA 大阪研修員17名が市民と茨木市青少年野外活動センターでバーベキューやスイカ割り、ハイキングなどを楽しみました。参加された市民の方からの声をご紹介します!

### 上地 雅美

9月下旬の日曜日、晴天の空の下で JICA 研修員の方と市民の方とのふれあい交流にボランティアとして参加させて頂きました。

場所は銭原キャンプ場です。最初にグループ毎の自己紹介です。その時から、色んな国の色々な職業の方の、お国柄、お人柄あふれるお話が始まりました。

バーベキューの準備を、キャンプ場の若いスタッフに手伝ってもらいながら始めました。野菜を切ったり、火をおこしたりは、今朝会ったとは思えない、笑い声の中でした。

昼食後、キャンプ場内を散歩しながら、それぞれにお国のお話等を伺いました。研修員として、レポートが大変だっ



たとか、国の奥さんから‘淋しいから早く帰ってきてほしい’というメールがきているとか… 様々な気持ちで日本での研修を頑張っておられるのだなと思いました。

最後はスイカ割りです。研修員の皆さんのパフォーマンスに、全員の笑い声が銭原の山の中に響き渡りました。

市民の方も、研修員の方に積極的にお話をされていたのが印象的でした。とても良いふれあいができたのではないのでしょうか。研修員の皆さんも、忙しい勉強の合間の楽しい休日になったのではないかと思います。



## 次回 JICA 大阪国際センター研修員(外国人)とのふれあい交流参加者募集!

- ▶ と き 1月23日(日) 午前9時~午後3時30分
- ▶ 集合場所 茨木市役所来庁者駐車場
- ▶ 定 員 先着15人(高校生以上・初参加者を優先)
- ▶ 内 容 JICA大阪国際センター研修員と市民と一緒に体育館でスポーツをし、民族学博物館を見学しながら交流をはかる
- ▶ 参加費 1,000円程度(昼食代・入館料含む)
- ▶ 申 込 1月4日~14日に、市国際親善都市協会事務局(市民活動推進課内 ☎620-1604)へ



## JICA七夕まつりに参加して

茨木市姉妹都市活動室 木本 律子

「世界のいろいろな国から研修に来られているJICAの方に日本のことを知ってもらいたい・・・」その思いから私たちはJICA参加者に浴衣を着て日本の七夕を味わってほしいと準備しました。



7月3日(土)午後2時にJICA研修員40名と当活動室会員39名がオリエンテーションルームに集まりました。「着物」を着ることにわくわくしている研修員のみなさん、お手伝いする私たち、共に嬉しい時間です。さて浴衣を着て折り紙を体験し、七夕にちなんだ和菓子を一緒にいただき・・・。

それからが今回の目玉!! 童歌を歌い遊ぶというコーナーです。茨木市内で活動するたんぼぼ青少年少女合唱団の登場。子どもたちはJICAの参加者と一緒に童歌を歌



いながら手をつなぎジャンケンをして、最後には子ども代表とJICA代表のケンケン相撲で会場が笑い声と歓声に包まれました。世代を越えて民族を超えて、温かな交流ができた一日でした。

## Ibaraki Intercultural Network (IIN)

姉妹都市活動室

姉妹都市活動室では、ミネアポリス市との交流を支えるための英語力や国際感覚の向上、異文化理解のため、ゲストスピーカーの英語によるスピーチを聞いたり、ディスカッション等を行っています。また、JICA研修員、阪大留学生や茨木市近隣に在住の外国人との交流を楽しんでいます。

興味のある方は、気軽に見学に来てください。

例会\* 第1木曜日 午前9時30分~11時30分  
第3土曜日 午後2時~4時

場所\* クリエイトセンター  
※協会事務局へお問合せください。

資格\* 茨木市国際親善都市協会会員

年会費\* 正会員：2,000円 (18歳以上)

準会員\* 1,000円 (中・高校生)



## Let's learn Japanese together!

実用日本語学習会

「実用日本語学習会」では、日本語を母語としな  
い方を対象に、マンツーマンで日本語学習の支援を  
行っております。

また、学習支援者も同時に募集していますので、  
興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください!

とき ◆ 《Thursday Class》 1:30~ 3:00 p.m.  
《Friday Class》 10:00~11:30 a.m.

ところ ◆ 8th Floor at City Hall Annex

ひょう ◆ 1,500円 (テキスト代は実費)

※木・金曜の両方に参加の場合は、3,000円

れんらく ◆ TEL 080-6178-6312

ホームページ ◆ <http://pjci.infoseek.ne.jp/>

## 日本語学習会 修了式

長谷川リカルド申明



私が来日した頃、日本語が少ししか分かりませんでした。その時祖父が私にいつも言ったことすぐ思

い出した。日本語が分からない日系人は苦勞すると言いました。その通りでした。それから日本語を学習するしかなかったので日本語を勉強し始めました。そのために茨木市実用日本語学習会に通い始めました。日本語教室でいろいろな支援者と出会って、私に必要な文法のことを教えてくれたのでだんだん日本語で話せるようになって、私の日常生活は少しずつ楽になってきました。本当に楽しんで勉強しました。その気持ちでこの学期が終わるまで頑張りました。



そしていよいよ今学期の最終日が来ました。その日、参加した外国人に修了証書を渡し、さかもとさんが文法の中で外国人がよく間違いをするものの、正しい方法を説明しました。それから支援者たちと学生たちと一緒にゲームをしたり、ケーキを食べながら会話をしました。楽しい一日でした。来学期の日本語教室も楽しみに待っています。



# 国際交流の集いにご参加下さい!!

2011年2月20日 日

- 時間** お昼 12:30 ~ (予定)
- 場所** 茨木市市民会館 ドリームホール
- 内容** 外国人による日本語スピーチ大会  
もちつき体験  
JICA の和太鼓、フラメンコなど (予定)
- 参加** 当日、直接会場へ (参加費無料)
- 問合せ先** 協会事務局 (TEL 620-1604)

## <前回の交流風景>



▲ テコンドー



▲ 餅つき大会



▲ コリア国際学園の生徒によるプッチェチュム (扇の舞)

## We Are Friends!

### 青少年活動室

英語でクッキング、ショッピング、ハロウィン、クリスマスなど、毎回テーマに沿って講師の久徳ウェンディー先生と一緒に英語に親しむ "We Are Friends !" は、原則 4・5・7・9・10・12・1・2月の第3日曜日(10月は最終日曜日)にクリエイティブセンターで行なっています。

**英語が初めてという人もぜひ参加してください!**

- 【対象】** 小学4年生から中学3年生まで  
(会員は無料、会員でない方は参加費 300 円)
- 【参加申込】** 開催月初めから協会事務局にて電話受付  
(定員30人程度)

※開催日の詳細は開催月の広報「いばらき」に掲載



▲ ボランティアのみなさんも仮装!

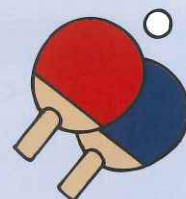


▲ みんなでハロウィンを体験

## 茨木市卓球親善訪中団の参加者を募集します!!

~友好都市安慶市のみなさんと卓球を通して交流しませんか? 我们一起在安庆打乒乓球吧!~

- 日程** 2011年3月25日(金)~3月30日(水)の6日間
- 訪問先** 中国安慶市、上海市
- 内容** 安慶市民と卓球の親善試合、  
上海市・安慶市の観光など
- 対象** 協会会員もしくは、茨木市在住・在勤・在学の方
- 定員** 先着20人
- 費用** 約18万円  
(24歳以下の方は国際交流助成事業基金の助成金(3万円)を申請可)
- 申込** 1月6日(木)より協会事務局にて電話で受付  
(TEL 620-1604)



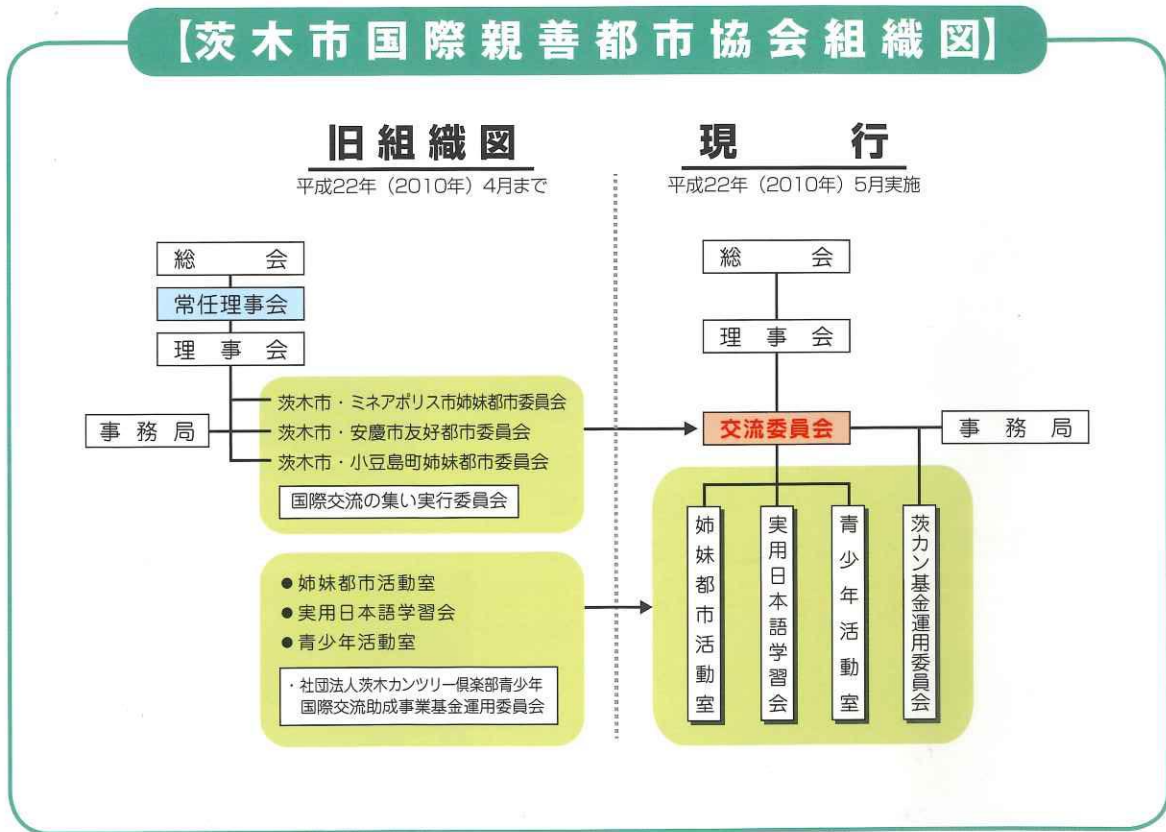


# 組織の活性化に向けて 交流委員会が発足しました!

本協会は、設立以来30年の間、会員の皆様のため活動と努力によって、姉妹・友好都市相互の市民交流の進展に大きな役割を果たしてきました。

今後、更なる市民交流の深化を図るため、従来の常任理事会、ミネアポリス市委員会、安慶市委員会、小豆島町委員会を廃止し、一層機能的な協会の運営・活動が実施できるよう交流委員会を発足させ、組織の改革を行いました。

## 【茨木市国際親善都市協会組織図】



### < 寄 附 >

国際交流事業の推進のために本協会に次の方から温かいご寄附をいただきました。ご厚志に心からお礼申し上げます。(5月～11月、敬称略)

10月 茨木ライオンズクラブ (10万円)

編集・発行

茨木市国際親善都市協会

〒567-8505 茨木市駅前三丁目8番13号  
茨木市市民生活部市民活動推進課内  
TEL.072-620-1604 FAX.072-622-7202  
〈ホームページアドレス〉 <http://www.ifai.jp/>